

埼玉から新しい日本のカタチを構想するジャーナリズム **イモノミクス社会の発展を目指して**

The Hands-On Times

特定非営利活動法人ハンズオン！埼玉 TEL048-834-2052 FAX. 048-826-5184 URL:http://www.hands-on-s.org/ 〒330-0063さいたま市浦和区高砂 2-10-6

【巻頭言】

先の総選挙中、議員秘書の友人に連絡をしたら「リベラルの声がまったく届いていない。ネット上での誹謗中傷があまりにひどい」とのこと。オープンな議論が期待されたネットだが、現実と同じ考えの人だけで互いに「いいね！」しているだけ。首相のFACEBOOKなどにはヘイト書き込みがあふれている。これを毎日見ていたら、確実に道を間違える。パブリックとは異論の存在を前提にしてうまれる概念。顔をあわせ耳を傾け合いたい。そうしないと確実に戦争で若者が死ぬ時代が来る（あえて断言）。



発災から5年目の春がやってきます。今年お、避難生活を続けることを余儀なくされている方・定住を決めた方。おうちのこと、賠償のこと、放射線のこと…国の施策・制度、避難されている方それぞれの選択がうまくかみ合う所があるのか、どうか。「次のこと」

おとうさんのヤキイモタイム



絶対調の安倍政権は、女性を会社におとしちゃっていいですが、それなら「地域、家庭に父親を」と言いたい、というわけで「おとうさんのヤキイモタイム」。父親の地域での仲間づくりを応援し

て早10年。今年も県内各地で狼煙があがっています。しかし今年例年と比較すると、連絡をいただく件数が減っています。最近の統計では、子育ての相談相手として近所の友人をあげる人は激減（グラフ）。家族単位での暮らしを開いていけたらという願いではじめたヤキイモタイムですが、いよいよ難しい時代になってきたのかと心配しています。たき火が難しくなっているという事情もあるようで、ヤキイモがいいのかどうかも見直す時期に来ているのかも



『福玉便り』発行：『福玉便り』編集委員会（一社）埼玉県労働者福祉協議会・認定NPO法人ハンズオン埼玉
編集デザイン：認定NPO法人ハンズオン埼玉
部数：4000部/月刊
富士ゼロックス埼玉端数倶楽部のみなさんに『福玉便り』の印刷をご協力をいただいています（毎月カラーA4・8ページ）。中央共同募金会災害ボランティア・NPO活動サポート募金の助成を頂いています。毎月の発送作業にボランティアに関わってくださる避難者の方など、たくさんの方に支えられています。

福玉、募金

お互いに支え合える関係を目指して、福玉便りの発行や交流会の開催のために使わせていただきます。ご協力をよろしく願います。

●中央労働金庫さいたま支店 普通預金 6600705
●郵便振替 00160-0-291210

* 3000円以上ご寄付いただいた方には、福玉便りを一年間お送りいたします。送付先お名前、ご住所を下記までご連絡ください。
メール:fukutama@431279.com
FAX: 048-826-5184

したいに報道や情報が少なく、不安に感じますが、『福玉便り』が早くも「私達がここにいる事を忘れないでいてくれる人がいる」と思っています。ほんとにありがとうございます。お読みいただきありがとうございます。

れません（ならば七輪で）。そんな中、先日、越谷の保育園さんからヤキイモをした。いとこの連絡をいただきました。何度かやりとりをしていっているうちに「ひよつとして、福玉便りの西川さん？」とのメール。連絡くださった主任の女性は、実は福島から避難されて来た方。うれしい出会いでした。

※今年も生協パルシステム埼玉さんにお芋を提供いただき、（一社）埼玉労働者福祉機会さんに運営のご協力をいただいています。



「市民の会議術」に続くマッキー（青木将幸）の著書「アイスブレイクベスト50」。その完全制覇を目指して実施した昨年度のアイスブレイク研究会。1日で達成するには、あまりに充実しており、道半ばとなっていました。そのため、今回の研究会では昨年度の続きを実施し、ついに50ブレイク完全制覇を達成しました。完全制覇を達成したメン

認定NPOのメリットがほとんどなくなる!!
：そんな情報が「シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」から寄せられました。「認定」と一緒に、認定伝道師として県内を回った者として黙って見過ごすわけにはいけません。」との思いで、県内認定・仮認定NPO8団体が共同呼びかけ人となって、勉強会を開催しました。シーズ関口聡氏、埼玉県・さいたま市の認証担当職員さんをお招きしました。暮らしネット・えんさんからは「介護職員の給与支払いまで寄付に頼らざるを得ない状況になっていく。このままではつぶれてしまう」といった差し迫った声が聞かれました。

好評発売中! 『市民の会議術ミーティング・ファシリテーション入門』 青木将幸著

ハンズオン！埼玉出版部発行
A5判304頁 定価2000円+税
ISBN978-4-990679-11-8



「動員」の研究

ていることを知った。

昨年からさまざまな地元の組織にかかわるようになった。午前・PTA、午後・民生委員の活動、夜・理事をしている学童保育を運営するNPOの会議で一日終わるといふこともしばしば。言われるままに引き受けた結果で、反省している。いつ稼ぐのか……。ともあれ学びは多い。

民生委員では、地元の高齢の方々を知り合いになった。このお正月も「あのばあちゃんどうしてるかなあ」と気になるようになった。行政の下請け兼ボランティアのこの制度、あと何年かしてくと、担い手不足で崩壊する地域が続出するだろう。PTAについてはなにも例年と変えないのがいちばんという硬直した組織運営が、何十年も繰り返されて

不安だったとき、県庁の担当者「動員かけるから大丈夫ですよ」と、さらっと話すので驚いた。その時はピンとこなかったが、これだったのか！

動員さえかければ人が集まるので、企画そのものが安易になりがち。主催者のそんな気持ち、必ず会場の空気に伝染。行政の退職職員が事務局をしていたりすることも多い。あちらは有償で、こちらは無償。「時間を返して」と心の中で叫ぶも、まわりを見渡すと睡眠学習の方も多数。とりくんでますと言うた

め。課題はどこへ。昨春はじめて出たPTAの最初の会議で「これなんでやってるんですか？」と聞いたときの先輩ママの返答が忘れられない。「え、意味なんて聞かれたのはじめてです」。

こうした動員も、ボランティアと言われていたりするから、やや

15年前、県の事業で介護保険制度をうまく使いこなそうというボランティア組織を運営したことがある。1,000人を募集した。もし集まらなかつたら

SNSで瞬く間に会ったこともない人を知り、FBではお誕生日おめでとが飛び交っている。でも、近所の方が入院したこと

を知らなかつたりする。携帯電話などの「つながる」ためのツールが普及しているのに、虐待や自殺率はむしろ増えている。広いネットの海を泳いでいたつもりが、気がついたら目的や考えが同じ人だけの関係にこもって、おぼれそう

つながりがいのちを守る」とよく

言われていたが、そのこの意味をもう一度問いなおしたい。

「そもそも、地域って？」

「そもそも、市民活動の広報って？」

「そもそも、地域のつながりって？」



のこしたいよしたの 広報世界遺産 somo somo

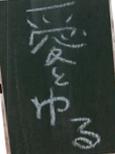


「海抜ゼロメートルからまず考えてみる」と。

事務局 日誌 ダイジェスト



日誌。大堀岡・若尾各理事卒業。九月十五日、アイズブレイク研究会、春に引き続き残り23ブレイクを完全制覇したのは5名。最後に青木将幸さんが電話出演してくれました。▼二十七日、大宮アルディージャvs清水エスパルス戦、毎日興業プレゼンツ手話応援デー、愛してるぜのカプリモノで応援。▼二十九日中山道の老舗お茶やさん楽風さんのお散歩マップ、大好評。▼十月十一日、南越谷避難者の交流会にお邪魔。▼十三日、第三回テニスコッパ！卓球選手権(主催…クッキーP)に参加。▼十八日、10年目のおとうさんのヤキモチタイムキャンペーン開始。秋田の鹿角市に出張。▼二十七日、佐賀嬉野市に出張、忍者部屋に泊まる。武雄図書館について市民と意見交換も。▼十一月二十日、どうなる？NPO税制地域でできること。さいたまNPOセンターなど県内のNPOとともに呼びかけた学習会。直前に衆院解散が決まったものの、選挙後にもつれこむため断を許さない状況の中での開催。▼十二月九日、明治HDお菓子寄贈プログラムから県内の避難者のみなさんへお菓子を届ける旅へ。▼十三日、十四日の投票日前に、朝日新聞オピニオン欄に西川の発言が取り上げられる。社会にもっと遊びを生む政策を！(七輪党結成のとき)。▼二十日、ボラサポ15次助成決定の報に、これで年が越せると安堵。ほつ。



心をゆる。板吉田理事のお話を。▼八月四日、会議の新アイテム。▼二七

「海抜ゼロメートルからまず考えてみる」と。